

# 興部高校地歴公民科×SDGs 学習指導（活動）案

## 【実践者】

氏名 杉山 拓哉  
 学校名 北海道興部高等学校  
 学年（人数） 1 学年 14 名  
 実施教科（領域） 現代社会（3 単位）

## 【関連する SDGs】（8・9・11）



## 【実施概要】

1. 単元名（活動名）： 私たちの国際協力 ～SDGsと興部高校生～
2. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：
  - ・生徒それぞれの生活や考える進路が、持続可能な開発目標(SDGs)と関連していることを意識させる。（知識・理解、技能）
  - ・直接 SDGs に関連する職業に就いている人々の話をもとに、自らは何ができるのか、それが実は国際協力にも間接的に結びついていることに気付かせる。（思考・判断・表現）

| 3. 単元計画（全5時間）                                   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 時   | ねらい   | 学習活動  | 資料など  |
| 単元全体の問い<br>「2030年SDGs達成のために2021年の今、私たちは何をすべきか？」 |   |   |   |
| 0   | SDGs とは何かについて理解を深める（予習）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習などを利用し、SDGs とは何かについて予習する。</li> <li>・宿泊研修で見学した紋別バイオマス発電所・道立流水科学センターについての感想を各自まとめておく（予習）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習でのプリント（資料1）等を用いて、教員が添削する。</li> </ul>             |
| 1   | 興部町で働く人（JA北オホーツク 担い手対策課）からSDGsに関わる取り組み事例を聞き、自分には何ができるかについて考察するきっかけとする           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・興部町で働く人々（JA北オホーツク 担い手対策課 武藤 元成 様）の取り組みがSDGsのどの項目にあたるか考察した上で、「自分には何ができるのか」を考えるヒントとする。</li> <li>※お話しいただく方には学生時代の経験が今の仕事にどう結びついているのかも踏まえて講演いただく。（キャリア教育の視点から）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント参照</li> </ul>                                |
| 2・3   | 生徒それぞれが考える将来がSDGs17の項目のうち、のどの項目に繋がり、何をすべきかについて考察・表現させる                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアコンサルタント 野吾さんによるSDGs トーク ※家庭科との教科間連携により実施</li> <li>内容：（※詳細はパワーポイント参照）</li> <li>前半 それぞれが思い描く「未来」についてのグループワーク及び意見共有（SDGsに関連）</li> <li>後半 SDGsに関わる世界の課題や身近な課題の紹介（例：ファストファッション、海洋ごみ）</li> <li>※野吾さんには学生時代の経験が今の仕事にどう結びついているのかについてもお話しいただく。（キャリア教育の視点から）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント資料参照</li> <li>・SDGs17の目標の一覧表</li> </ul>      |
| 4・5   | これまでのSDGsに関わる取り組み事例をもとに、興部町（紋別市）に住む私たち高校生には地域のために何ができるか考察・発表する（授業終了後の行動につながるよう） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Jam boardを用いて、ブレインストーミング（紋別バイオマス発電所・JA北オホーツク・野吾さんそれぞれの取り組みから感じたこと、自分たちには何ができるか）</li> <li>・個別の宣言書を作成し、授業終了後の活動につなげる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット準備（Jam board 使用）</li> <li>・宣言書（資料2）</li> </ul> |

| <p>4. 本時の展開 (4～5 / 5時間)</p> <p>本時のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紋別バイオマス発電所、道立流氷科学センター、興部町で働く人、キャリアコンサルタント野吾さんの取り組みをもとに、興部町（紋別市）に住む生徒自身には何ができるのか考察する。</li> <li>・ 国際協力は、何気ない普段の私たちの行動から始まっていくことを理解させる。</li> </ul> |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 過程・時間   | 教師の働きかけ・発問および学習活動   | 指導上の留意点 (支援)  | 資料 (教材)  |
|   | <p>本時の問い：「私たち興部高校生には、SDGs 達成のために何ができるか？」</p>  |   |  |
| 導入 (10分)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「紋別バイオマス発電所・道立流氷科学センターの見学から感じたことは？」</li> <li>・ 「興部町で働く人々（JA北オホーツクの人々）から感じたことは？」</li> <li>・ 「JICA 野吾さんのお話から感じたことは？」</li> </ul> <p>⇒代表1～2名ずつ感想を聞く</p> <p>想定回答の例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイオマス発電にはいろいろな発電方法があることを知った</li> <li>・ 海洋プラスチックが紋別にもたくさん打ち上げられていることに驚いた</li> <li>・ JA北オホーツクの取組みがSDGsにつながることを初めて知った</li> <li>・ 野吾さんが行っているSDGsの広報活動がとても大切であることに気付いた</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここで共有される感想をもとに、後のグループワークに繋げる</li> <li>・ どんなことを話していた？との振り返りも合わせて</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紋別バイオマス発電所感想プリント</li> <li>・ JA北オホーツク記入シート</li> <li>・ JICA 野吾さん講演プリント</li> </ul> |
| 展開① (10分)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の生活でSDGsに関わる取組みをしている生徒がいるか聞く。</li> </ul> <p>⇒代表生徒数名からの意見を聞く。</p> <p>教員からは<br/>下川町の割箸、エコバッグ（かご）等の実物を見せながらの話のヒントも行う</p> <p>想定回答の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物の時にはレジ袋をもらわない</li> <li>・ ご飯を残さず食べている 等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な何気ない行動もSDGsにつながることはある、と共通認識させたい。</li> <li>・ 興部高校の教員にも直接ではないが、実はSDGsに関わる活動をする教員がいることを伝える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下川町の割箸</li> <li>・ マクドナルドのカップ、紙袋</li> </ul>                                      |
| 展開② (30分)   | <p>&lt;グループワーク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つの話から感じたことを交流</li> <li>・ 自分たちには何ができるか</li> </ul> <p>⇒Jam boardのページをそれぞれのグループごとで作成し、感想や意見などを共有していく。</p> <p>SDGsのアイコン等も用意し、感想や意見が何番のアイコンにつながるか考察させる。</p> <p>&lt;想定される生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興部町にもSDGsの取組みを行っている人がいることに初めて気づいた</li> <li>・ OO（生徒の行動）ってSDGsに入ると思う？</li> <li>・ 募金だけが全てじゃないよね？</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員はそれぞれのグループを巡回、間に入ってアドバイスも行う。</li> </ul> <p>&lt;アドバイスの例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の生活における違和感や疑問からのアプローチ</li> <li>・ 将来の進路のために高校生として今すべき事は？</li> </ul> <p>⇒議論の状況など見ながら、アドバイスを適切に行っていく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Jam board 使用</li> </ul>   |
| 休憩 (10分)  | <p>(休憩中、他のグループの書き込みを見るよう指示をする)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他のグループの書き込みを見ることで、後半の活動に反映できるようにさせたい。</li> </ul>   |  |

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <p>展開③<br/>(30分)</p> <p>まとめ<br/>(20分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展開②の続き (20分)</li> <li>⇒「他のグループの書き込み見て気づいたことはありますか？」と教員から発問し、何人かに答えてもらう。<br/>その答えから気付いたことを踏まえ、ワークを継続させる。</li> <li>・宣言書 (個別) の作成 (10分)</li> <li>⇒形式については、教員が準備した形式で記入する。</li> <li>・グループワーク発表、意見共有</li> <li>⇒各グループの発表を踏まえた、互いのアドバイスや感想等も尋ねたい。</li> <li>・宣言書の発表を踏まえた個別の感想共有 (数名)</li> <li>⇒授業終了した時点の心の変化を尋ねたい。</li> <li>想定回答の例</li> <li>・授業を行う前はSDGsについて何も知らなかったが、SDGsを知って、意識した生活を心がけたい。</li> <li>・興部町 (紋別市) で働く際には、SDGsのことも意識して、広めていきたい</li> <li>・SDGsの学習内容をもっと深めたい 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言書の内容は必ず実践できることを書かせる。</li> <li>・できれば、個別の感想を述べあうときには、なぜそう思ったのかについての理由について共有したい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言書は授業終了後、教室内に掲示。学級通信にも掲載。</li> <li>☆授業終了後も宣言書をもとに実践を続けているか確認する機会を設けたい</li> </ul> |
|---|---|--|---|

**5.評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)**

- ・SDGsに関する知識をつけ、それぞれの生活や考える進路がSDGsと関連していることに気付いているか (知識・理解、技能)
- ・SDGs達成のために、自らは何ができるか、どうしたら実行できるかを主体的に考え、論理的に他者へ向けて発信ができていくか (思考・判断・表現)
- ・SDGsに関わる仕事に就く人々の話をもとに、自分には何ができるか解決意識を持とうとしているか (関心・意欲・態度)

**6.資料および外部との連携**

<参考資料>

- ・外務省HP「JAPAN SDGs Action Platform」  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>)
- ・とくしまSDGs消費者教育教材「SDGsを私たちの買い物から見てみよう&クイズ」  
(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/sdgs.ethical.town/reference-room/learning-SDGs/>)
- ・マクドナルドHP「森林保全対策」  
([https://www.mcdonalds.co.jp/scale\\_for\\_good/our\\_planet/environment/#maint](https://www.mcdonalds.co.jp/scale_for_good/our_planet/environment/#maint))

<ご協力いただいたみなさま>

- ・紋別市役所 産業部 農政林務課 林 幸範 様 (西紋地区の森林利用について)
- ・紋別バイオマス発電株式会社 総務部 山下 雅也 様 奥田 啓貴 様 (紋別バイオマス発電所について)
- ・道立流水科学センター 桑原 尚司 様 石原 宙 様 (道立流水科学センターの取組み)
- ・JA北オホーツク 担い手対策課 武藤 元成 様 (JA北オホーツクにおけるSDGsの取組み)
- ・キャリアコンサルタント ミライ design 野吾 奈穂子 様 (興部高校SDGsトーク)

## 【自己評価】

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 苦勞した点                          | 単元の目標に近づくため、どの講師にどんなお話をしていただくか、アイデアを出すことに苦勞しました。  |
| 改善点                            | 生徒自らの力で「できる」ことだけではなく、「できない」（＝国や地方公共団体、NPO や NGO に働きかけをしなければならない事実）こともしっかりと考えさせ、課題解決に向けてどのような行動が必要なのかを考えさせることが必要と感じています。   |
| 成果が出た点                         | 今回、連携を行った道立流水科学センターにおいて、学習した成果をポスター展示させて頂くことができました。   |
| 学びの軌跡<br>(児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等) | SDGs を学習する前は、SDGs がそもそもどのようなものかわからなかった状況から、「自分には何ができるか」という考察まで到達し、そこからポスターを作成し、オホーツク地域を訪れる観光客に向けて、流水観光を守る大切さについて一定の学習成果を発表することができました。   |
| 授業者による自由記述                     | 教師国内研修に応募する前は、SDGs については近年の動きの1つとして紹介すればよいと思っていましたが、研修を受けていくに連れて、私たちの身近にあることほとんどすべてに関わることがわかり、それであればしっかり生徒に伝えていかなければならない責任を感じれるようになりました。<br>また、最近では生徒の身近な行動が SDGs のどの部分に関わるのか、現代社会だけではなく、日本史や世界史の授業にも考え方を取り入れたりしています。         |
| 学校内外で SDGs 学習・授業実践を広める取り組み     | 道立流水科学センターとの連携は今後も続け、いつの日か観光客も含め、一般の方向けに研究発表のような形で発表を行いたいと考えています。<br>また、この活動を生かして、北海道大学が主催する SDGs に関わるコンテストにも応募しましたが、今年度は落選してしまいました。ただ、審査員の方からは「来年以降もっとパワーアップした発表を見たい」との声があり、来年度の応募を検討しています。<br>今後も他教科との連携も視野に入れ、活動を継続していきます。 |

(資料1)

SDGs 朝学習 1 日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. 以下のSDGsの説明について、空欄になっているところを選択肢より選び、文を完成させましょう！



SDGs (= ①) とは、2001 年に策定された MDGs (= ②) の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための ③ アジェンダ」に記載された、③ 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。④ のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「leave no one behind」という目標を誓っています。SDGs は ⑤ のみならず、⑥ 自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（文参考：外務省HP「JAPAN SDGs Action Platform」）

※MDGs…2000 年 9 月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言を基にまとめられた、開発分野における国際社会共通の目標

- ①= \_\_\_\_\_    ②= \_\_\_\_\_    ③= \_\_\_\_\_  
 ④= \_\_\_\_\_    ⑤= \_\_\_\_\_    ⑥= \_\_\_\_\_

< 選択肢 >

先進国    発展途上国    2030    17    持続可能な開発目標    ミレニアム開発目標

問：説明文中の「leave no one behind」は日本語に訳すと、どういう意味になるでしょう？

答え： \_\_\_\_\_  
 （ヒント：no one は 「誰 1 人・・・」と訳します）

(資料1)

SDGs 朝学習は次回へ続く・・・

SDGs 朝学習 2日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、今日は1～8の目標について、空欄になっているところを選択肢より選び、目標全てを完成させましょう！

1. ( ) をなくそう
2. ( ) をゼロに
3. すべての人に ( ) と ( ) を
4. 質の高い ( ) をみんなに
5. ( ) 平等を実現しよう
6. 安全な ( ) と ( ) を世界中に
7. ( ) をみんなに そしてクリーンに
8. ( ) も ( ) も

< 選択肢 >

経済成長 健康 水 エネルギー 教育 ジェンダー 飢餓  
貧困 働きがい 福祉 トイレ

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
世界を変えるための17の目標



※早く終わった人々は、1～8の目標達成のために自分たちは何ができるか考えをめぐらせてみよう！

(資料1)

SDGs朝学習3日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、今日は9～17の目標について、空欄になっているところを選択肢より選び、目標全てを完成させましょう！

9. ( ) と ( ) の基盤をつくろう

10. 人や国の ( ) をなくそう

11. 住み続けられる ( ) を

12. ( ) 責任 ( ) 責任

13. ( ) に具体的な対策を

14. ( ) の豊かさを守ろう

15. ( ) の豊かさも守ろう

16. ( ) と ( ) をすべての人に

17. ( ) で目標を達成しよう

<選択肢>

平和 陸 つくる まちづくり 不平等 技術革新 パートナーシップ  
つかう 産業 気候変動 海 公正



※早く終わった人々は、9～17の目標達成のために自分たちは何ができるか考えをめぐらせてみよう！

(資料1)

SDGs朝学習4日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、1～6の目標に関わるクイズに答えましょう！

(参考：とくしま SDGs 消費者教育教材HP より)

第1問

世界の10人に1人が、1日あるものの金額以下での暮らしを強いられています。  
あるものとは何でしょう？

- あ) テーマパーク入場料金1人分
- い) ティッシュペーパー5箱分
- う) 牛乳パック1本分



第2問

穀物は、世界中の人が暮らすのに必要な量の生産がされているにもかかわらず、  
世界には飢餓に苦しんでいる人がいます。世界人口の何人に1人が飢餓に苦しん  
でいるでしょう？

- あ) 9人に1人
- い) 900人に1人
- う) 3000人に1人



第3問

世界で最も多くの人間の命を奪っている生き物はどれでしょう？

- あ) ヘビ
- い) サメ
- う) 蚊



第4問

世界の小学校に行く年齢のうち、5900万人が小学校に通えていません。  
一番多い地域はどこでしょう？

- あ) 南アジア
- い) サハラ以南のアフリカ
- う) アメリカ



第5問

「世界の子どもの花嫁のうちサハラ以南のアフリカが占める割合は、25年前は7人に1人」  
でしたが、現在は何人に1人の割合でしょう？

- あ) 20人に1人
- い) 7人に1人
- う) 3人に1人



第6問

世界では何分かに1人の新生児が不衛生な水や環境が原因の感染症で命を落としています。  
感染症で亡くなる新生児は何分に1人でしょう？

- あ) 1分に1人
- い) 10分に1人
- う) 30分に1人



みなさんは何問正解しましたか？ 世界で起こっている出来事にも目を向けてみましょう！



(資料1)

SDGs朝学習5日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、7～12の目標に関わるクイズに答えましょう！

(参考：とくしまSDGs消費者教育教材HPより)

第1問

世界人口の10人中9人は電力を利用可能ですが、その電力をつくる時に使用している再生可能エネルギーが占める割合は世界平均17.5%です。

日本での発電電力量に占める再生可能エネルギーの導入は何%でしょう？

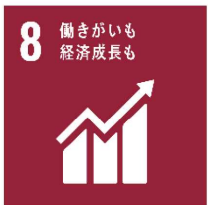
- あ) 54%    い) 32%    う) 18%



第2問

チョコレートやココアの原材料であるカカオ豆ですが、日本が輸入しているカカオ豆のうち約7割を占める輸入先の国はどこでしょう？

- あ) ナイジェリア    い) ガーナ    う) コロンビア



第3問

開発途上国であるアフリカ諸国では、水道・電気・インターネットなどのインフラ整備が不十分なことが原因で、生産性の何%かが失われているといわれています。

生産性の何%が失われているでしょう？

- あ) 約10%    い) 約20%    う) 約40%



第4問

世界で最も裕福な8人は、経済的に恵まれない人の何人分のお金を持っているでしょう？

- あ) 3600万人    い) 3億6000万人    う) 36億人



第5問

人びとが避難や移住しなければならない災害の年間発生件数は、2010年代は、1970年代の約何倍に増えているでしょう？

- あ) 約5倍    い) 約2倍    う) ほぼ変わらない



第6問

袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、期間が過ぎても食べられる期限はどちらでしょう？

- あ) 消費期限    い) 賞味期限



みなさんは何問正解しましたか？ 世界で起こっている出来事にも目を向けてみましょう！

(資料1)

SDGs朝学習6日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、13～17の目標に関わるクイズに答えましょう！

(参考：とくしまSDGs消費者教育教材HPより)

第1問

地球温暖化の1番の原因は、人間による温室効果ガスの排出です。

家庭からの二酸化炭素排出量の内訳で割合が1番高いのは、次のうちどれでしょう？

- あ) 照明・家電製品などから    い) 自動車から    う) 暖房から



第2問

現在の海洋生物の量は、1970年代と比べてどれくらいの割合になっているでしょう？

- あ) 約70%    い) 約半分    う) 約30%



第3問

日本で確認されている絶滅危惧種は3690種を上回りますが、次のうち絶滅危惧種に指定されている生き物はどれでしょう？

- あ) ツキノワグマ    い) アカウミガメ    う) コウノトリ    え) 全部



第4問

紛争などが原因で住む場所を追われ、世界では何秒かに1人が移動しなければならぬ状況にあります。

移動しなければならぬのは何秒に1人でしょう？

- あ) 2秒に1人    い) 120秒に1人    う) 300秒に1人



第5問

SDGs 1～17までの目標を達成するために協力すべきなのは次のうちどれでしょう？

- あ) 先進国が変化を先導すること  
い) 世界中のすべての人が協力すること



みなさんは何問正解しましたか？ 世界で起こっている出来事にも目を向けてみましょう！

(資料1)

SDGs 朝学習 7日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと思う項目を複数  
選び、その理由を書いてみましょう！



重要と感じる目標番号：

理由：

(資料1)

SDGs 朝学習 8 日目

番 氏名： \_\_\_\_\_

Q. SDGs 17の目標の項目のうち、以下の実生活における何気なく行われている行動が何番の目標と関連があるかについて答えましょう。



<行動>

<目標番号>

1. できる限り、昼食は自宅で作ったお弁当を持ってくる。
2. 水は使うときだけ蛇口をひねり、使わないときは閉める。
3. 筆記用具は完全に使えなくなるまで、新品は購入しないよう心がけている。
4. 人の意見を聞くときは、人を選ばずできるだけたくさんの声に耳を傾けようとしている。
5. 節電に心がけ、使わない部屋や教室の電気は消している。
6. フードロス削減のことも考え、食べ物はできるだけ残さず食べるようにしている。
7. 輝興祭（学校祭）では、1人だけの力ではなく、クラスや全校生徒の力で成功を収めた。
8. 暑い時は涼しい服装で、寒い時は暖かい服装やブランケットなどを使用し、冷暖房にあまり頼らない。
9. 登下校時、ごみを道端に捨てたりしていない。
10. 自分の進路に向けて積極的に学習し、将来は誰かの役に立てる仕事に就きたいと思っている。



# SDGs 授業教材紹介

北海道興部高等学校 杉山 拓哉

## 流れ

10月初旬…SDGsについての基礎学習



10月中旬…宿泊研修内で道立流水科学センターを見学（ビーチコーミングも実施）



11月…「現代社会」の授業にて“私たちには何ができるか”をグループごとに考察

## 流れ

12月上旬…興部町の海岸を調査（授業外）



12月上旬…再度道立流水科学センターを訪れインタビューを実施（授業外）



12月中旬…学習した成果を広めるため、道立流水科学センターにポスターを寄贈・設置

## 教材紹介① SDGs 朝学習

SDGs 朝学習 1日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

1日目

1. 1. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。2017年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

2日目

2. 2. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

SDGs 朝学習 2日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

2日目

3. 3. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

3日目

4. 4. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

## 教材紹介① SDGs 朝学習

SDGs 朝学習 3日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

3日目

5. 5. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

SDGs 朝学習 4日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

4日目

6. 6. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

## 教材紹介① SDGs 朝学習 7日目 (生徒回答)

SDGs 朝学習 7日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

7日目

7. 7. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

SDGs 朝学習 8日目

Q. SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

SDGs 17の目標のうち、あなたが目標達成に向けて世界的に重要だと感じる項目を複数選び、その理由を教えてください。

8日目

8. 8. 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、2016年9月の国連サミットで国際的な合意「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択された。2017年1月1日より正式に発効された。2030年までに達成を目指す17の目標を掲げている。

実践0時間目 流水科学センター見学



実践0時間目 ビーチコーミング（紋別）



実践0時間目 宿泊研修（生徒感想例）

Q2. 今回の宿泊研修の経験を通して、SDGs17の目標への考え方はどう変わりましたか？  
実施前と後の考えを比較して書きましょう。

日本だけでなく、世界全体の問題だと感じた。  
SDGsをしっかりと、一人一人の意識を変えていかなければ、SDGsが実現できないと感じた。(17)

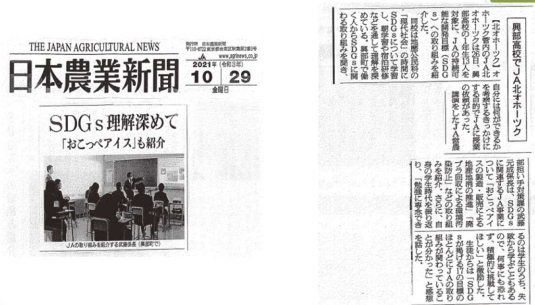
Q2. 今回の宿泊研修の経験を通して、SDGs17の目標への考え方はどう変わりましたか？  
実施前と後の考えを比較して書きましょう。

ビーチコーミングを通して、海に流れているゴミやマイクロプラスチックが気になって、プラスチックのゴミをカゴに入れて持ち帰ることで、海を汚らなすために、ゴミは、分別して分別して捨てるべきだ。  
紋別バスの充電所で7リットルタンクを作っていて7番に身についていると感じました。

実践1時間目 J A北オホーツク×SDGs



実践1時間目 J A北オホーツク×SDGs



実践2時間目 野吾さん×SDGs







ホーム 最新データ 写真 イベント 動画 版

北海道立オホーツク流氷科学センター ギャラリー 1月6日

☆前部高校によるポスター展示中！☆

こんにちは！  
相変わらず校別は寒い日が続きますが、だんだんと流氷が南下してきております。

さて、現在流氷科学センター1Fエントランスには興部高校の学生が作成した、「オホーツク海と海洋ごみ問題」に関するポスターを展示中です。

学生さんたちが実際に浜辺を歩き、SDGsの観点とともに問題と向き合ったものとなっております。

科学センターに立ち寄った際は、ぜひご覧ください！  
[写真]



| タイトル             | オホーツク流氷科学センターの概要  |
|------------------|---|
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>奥平川とオホーツク川の合流点に位置するオホーツク流氷科学センターは、流氷や海の環境、地域性のある資源・観光資源を研究・展示・普及させることを目的として、2011年に開館しました。現在はオホーツク流氷科学センターとして、流氷や海の環境、地域性のある資源・観光資源を研究・展示・普及させることを目的として、2011年に開館しました。</p> |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>1. 流氷科学センターの概要<br/>2. 流氷科学センターの役割<br/>3. グループワークSDGs授業</p>   |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>とてまず、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>              |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>                   |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>                   |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>                   |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>                   |
| オホーツク流氷科学センターの概要 | <p>流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。流氷の海産物資源を調べ、流氷科学センターの概要について、流氷科学センターの役割について、グループワークで自分たちができることを考え、ポスター制作を行いました。</p>                   |

SDGs 授業教材紹介

Fin.